

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科を実施しました。

国語と算数の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.7%		○			
国語B	54.7%		○			
算数A	63.5%					○
算数B	51.5%	○				
理科	60.3%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	90.8%	○				
書くこと	73.8%	○				
読むこと	74.0%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0%		○			

【考察】

- 領域「書くこと」では、文章全体の構成の効果を考えることに課題があります。物語文を書く場合だけでなく、文章で自分の考えや気持ちを伝えようとするときに、目的や相手に応じて、どのように文章を構成すればより相手に伝わるかを意識し、表現することの楽しさを実感できるよう指導していきます。また、国語科だけでなく各教科でも目的や相手に応じた文を書く等の学習を取り入れ、積み重ねていきます。
- 領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題があります。敬語を使う相手との関係を意識して、目上の人に対し、家族の行動には敬語を用いないことなど、知識だけでなく場面に応じて敬語の使用を判断できるよう、日頃から正しい敬語を用いるように意識付けていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.6%			○		
書くこと	45.6%		○			
読むこと	50.8%	○				

【考察】

- 領域「読むこと」では、目的に応じて、複数の本や文章などを進んで読むことや、自分の考えを明確にしながら読むことに課題があります。本を使って調べ学習をする際、複数の本を比べて読むことで、調べた事柄についてより深く知るとともに、たくさんの情報の中から必要な情報を読み取ることができるよう指導していきます。また、子どもたちがより多くの本や文章に親しめるよう、読書の奨励に継続して取り組んでいきます。
- 領域「書くこと」では、目的や意図に応じて文章を書くことに課題があります。書き方を工夫することで、相手により伝わりやすくなることが実感として理解できるよう、書き方を工夫する活動を取り入れ、積み重ねていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%				○	
量と測定	72.7%					○
図形	56.9%					○
数量関係	60.1%					○

【考察】

- 領域「数と計算」では、1にあたる大きさを求める問題や、小数の除法の意味の理解について課題があります。2つの数量を比較したり、単位量あたりの大きさを求めたりする学習では、数直線や図と数量を関連付けながら考えるなどしながら、計算の意味を理解できるようにしていきます。
- 領域「量と測定」では、特に角の大きさを正しく求めることができています。この領域では、角度だけでなく、ものの長さやかさ、重さを比べる経験を豊かにし、その経験から任意単位による測定とそのよさを理解することができるよう、継続して指導していきます。
- 領域「数量関係」では、百分率を求めたり、折れ線グラフから変化の特徴を読み取ったりすることができています。グラフから資料の特徴を読み取ることは、算数だけでなく、他教科でも必要な力です。他教科との関連を図りながら、算数で学んだ力を生かせるように、継続して指導していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	58.4%	○				
量と測定	52.4%	○				
図形	59.9%	○				
数量関係	45.1%	○				

【考察】

- 領域「図形」では、模様の中から図形を見だし、角の大きさを捉えることに課題があります。1つの角度を正確に測るだけでなく、学習した内容と日常生活を結び付けながら、身の回りのものから図形を見いだしたり、図形を組み合わせたりする活動を通して、図形の角がいくつ分で 360° になるかというような量的な感覚を養うように指導していきます。
- 領域「量と測定」では、示された情報を解釈し、数理的に処理したり、示された方法を適用し、条件に合う事柄について適切に判断したりすることに課題があります。この領域は、昨年度の課題の一つであり、きまりを見いだす楽しさを感じながら、成り立つ理由を考える活動に取り組んでまいりました。自分で見いだした方法でなくとも、そのよさに目を向け、活用しようとする態度を養うことができるよう、友達の考えに耳を傾け、理解しようとする態度を育む指導をしていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物質	59.8%	○				
エネルギー	53.1%					○
生命	73.6%					○
地球	49.5%					○

【考察】

- 領域「物質」では、適切な実験方法を問う問題に課題が見られました。実験を1回経験ただけで技能を身に付けるのは困難です。そのため、基本的な実験技能を、班のみんなが繰り返し経験できるよう、実験の計画を立てたり、役割分担をしたりすることで、一人一人の経験が保障できるようにしていきます。
- 領域「地球」では、全国平均を上回っている項目が多かったです。しかし、より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、表現することに課題が見られました。授業の中で、実験結果について意見を出し合い、考察する場面を大切にしていくことで、自分たちで考えを練り上げる経験を重ねていけるようにしていきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5
6	白三小	4.8	22.9	45.8	15.7	7.2	3.6

(単位 %)

【考 察】

- 本校での家庭学習の時間は、学校経営・運営ビジョンに示した通り「学年×10分～15分」で、各学年における「家庭学習の手引き」を配布するなどしてその達成に取り組んでいます。
- 本年度、県教委より「家庭学習スタンダード」も配布されたところであり、今後「目をかけて」「声をかけて」「手をかけて」「心をかけて」保護者の皆様と共に子ども達を育てていきたいと思っております。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	30.7	36.9	24.7	7.6
6	白三小	31.3	43.4	19.3	6.0

(単位 %)

【考 察】

- 学習時間を「学年×10分～15分」と設定していますが、学年が上がるにつれて、担任から指定された課題（宿題）にかける時間よりも、自主学習の時間が増えてきます。その自主学習こそが、自分の学力を伸ばす基になると考えています。自主学習のアイデアとしては、音読が上手になったら「暗唱」にチャレンジしたり、「国語辞典」や「漢和辞典」をおいて学習したり、親子で「読書」、「百マス計算競争」をしたりすることなども考えられます。
- 自分で考え、計画し、実践していくことこそが、自立につながるものと考え、今後も指導していきますので、家庭でもご協力をお願いします。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7
6	白三小	1.2	1.2	18.1	44.6	9.6	25.3

(単位 %)

【考 察】

- 読書に関しては、重要だと考えており、学校経営・運営ビジョンにも、年間で、低学年100冊・中学年75冊・高学年50冊と決めて取り組んでいるところです。
- 本校には、司書の先生もいるので、自分が読みたい本を見つけてもらったり、図書室にない場合には、市立図書館からも借りたりすることができるようにして興味関心を高めているところです。
- 読書に親しむことは、心を豊かにすることにもなり、自分の知識や教養の幅を大いに広げることにつながるので、今後とも読書に親しむことができるようにしていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

4 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	85.9	10.9	1.9	1.1
6	白三小	89.2	7.2	2.4	0.0

(単位 %)

【考 察】

- いじめに関しては、学校の全教育活動を通じて、してはいけないことであることを児童と共に確認しているところです。
- 特に道徳科や特別活動において、事例を取り上げ指導したり、心を豊かにしたりするための指導を心がけています。また、児童会でも「言葉のクリーンアップ作戦」の活動を通して、相手を傷つけるような言葉を使わないようにする取り組みを行っています。
- 今後も、学校経営・運営ビジョンにあるように、いじめ解消100%を目指し取り組んでいきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	42.5	42.8	11.2	3.3
6	白三小	50.6	41.0	3.6	4.8

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、各教科の指導技術の改善に努めており、その基本が児童一人ひとりを見つめ、個を大切にしていくことにあるので、先生方も良い点を認めていると考えられます。特に大切であると考えている国語・算数・道徳の3教科では、講師を招聘しての授業研修会を実施しています。
- QUテストの結果を分析するとともに、その結果を活用して毎週火曜日には、人間関係づくりの活動を実践していることも理由として考えられると思います。
- 今後とも、子ども達の良い点を認め、自分に自信が持てるような指導を心がけていきたいと考えています。